

令和8年度 AI for Science萌芽的挑戦研究創出事業 (SPReAD) 研究計画書

提出日 年 月 日

応募者情報

e-Rad 研究者番号 (8桁の半角数字)	※研究代表者本人が研究者番号を持たない場合は、代理で申請を行う指導教員等の番号をご記載ください。 ※Excelの仕様上、冒頭の「0」が表示されないことがございますが、審査上は問題ございません。		
メールアドレス	※必ず、所属機関から発行されている研究代表者本人のメールアドレスをご使用ください。		
研究代表者氏名	フリガナ 漢字	提出日 記入忘れにご留意ください。	
生年月日 (西暦、半角数字)	年	月	日
e-Rad所属機関コード(半角数字)	所属機関コード 「2132612000」 ※科		
所属機関	ご不明な場合は、e-Rad上ないしは所属機関にご確認ください。		
部署	学生の場合のみプルダウンから「Y」をご選択ください。→		
職	学生の場合のみプルダウンから「Y」をご選択ください。→		
所属機関の区分	部局 学生の場合は所属研究科をご記載ください。		
応募者属性の区分	職 学生の場合は「後期博士課程」とご記載ください		

研究課題情報

研究領域	※「はじめにご確認ください」記入にあたっての留意事項」タブを参照し、最も近いものをプルダウンからご選択ください。 ※プルダウンが使えない場合、「はじめにご確認ください」記入にあたっての留意事項」タブの「参考：研究領域分類」のB列「研究領域」から該当のものを選択し、転記ください。			
メインユースケース分類	※「はじめにご確認ください」記入にあたっての留意事項」タブを参照し、最も近いものをプルダウンからご選択ください。 ※プルダウンが使えない場合、「はじめにご確認ください」記入にあたっての留意事項」タブの「参考：ユースケース分類」のC列「ユースケースの分類」から該当のものを選択し、転記ください。			
「9.その他」を選択した場合(自由記述)				
サブユースケース選択	1.学習用データセット構築	2.既存モデルの適応	3.AIモデル開発	4.既存モデル評価
	5.実験自動化・自律化	6.シミュレーション・デジタルツイン	7.発見・設計支援	8.高度データ解析・モデリング
	※「はじめにご確認ください」記入にあたっての留意事項」タブを参照し、メインユースケースを達成するための補助目的として該当するものすべてに、プルダウンで「Y」をつけてください。			
研究課題名	研究課題名 e-Radの「研究開発課題名」と合致しているか ご確認ください。			

AI活用度

AI活用度選択(複数選択可)	研究でAIをまったく使っていない	研究そのものの以外の業務(メール・翻訳等)でAIを使っている	研究における文献探索や要約にAIを使っている	論文執筆や研究発表資料作成にAIを使っている	仮説検討やアイデア出しにAIを使っている
	研究データをAI(含:自ら作成した深層学習コード等)で分析・処理をしたことがある	AIや深層学習による分析結果を、論文・発表などにおいて研究成果として発表したことがある	APIにより既存AIを研究プロセスに組み込んでいる	自分でAI・深層学習モデルの開発(学習・評価の一連のプロセス全てを含む)を行い、研究に活用したことがある	新しい基盤モデル開発の経験がある
	※直接的に採択可否には影響しません。 ※該当するものすべてに、プルダウンで「Y」をつけてください。				
現在の具体的な活用方法					
	研究経費 「# REF」となっているケースがありますので提出前にご確認ください。				

研究経費

研究経費(半角数字)	研究経費(千円)	内訳(千円)				
		設備備品費	消耗品費	謝金	旅費	その他
	0	0	0	0	0	0
	※本欄は、自動で研究計画書3枚目の各項目の総計欄が反映されますので編集しないでください。 ※研究経費の総計が、10万円未満または500万円を超える場合には赤エラー表示がされます。					

文字数カウント

0

0